

# 和歌山県の地震

第 2 7 卷 6 号  
令和元年 6 月

## 和歌山県の地震活動

震央分布図	・・・・・・・・ 1
断面図	・・・・・・・・ 2
概況	・・・・・・・・ 2
和歌山県で震度 1 以上を観測した地震及び震度一覧	・・・・・・・・ 3
震度分布図	・・・・・・・・ 3

## 地震メモ No. 307

南海トラフ地震関連解説情報	・・・・・・・・ 4
---------------	------------

- \* この資料に使われている震源要素（北緯・東経）は、世界測地系に基づいています。
- \* この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- \* 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- \* この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図 25000（行政界・海岸線）を使用しています。

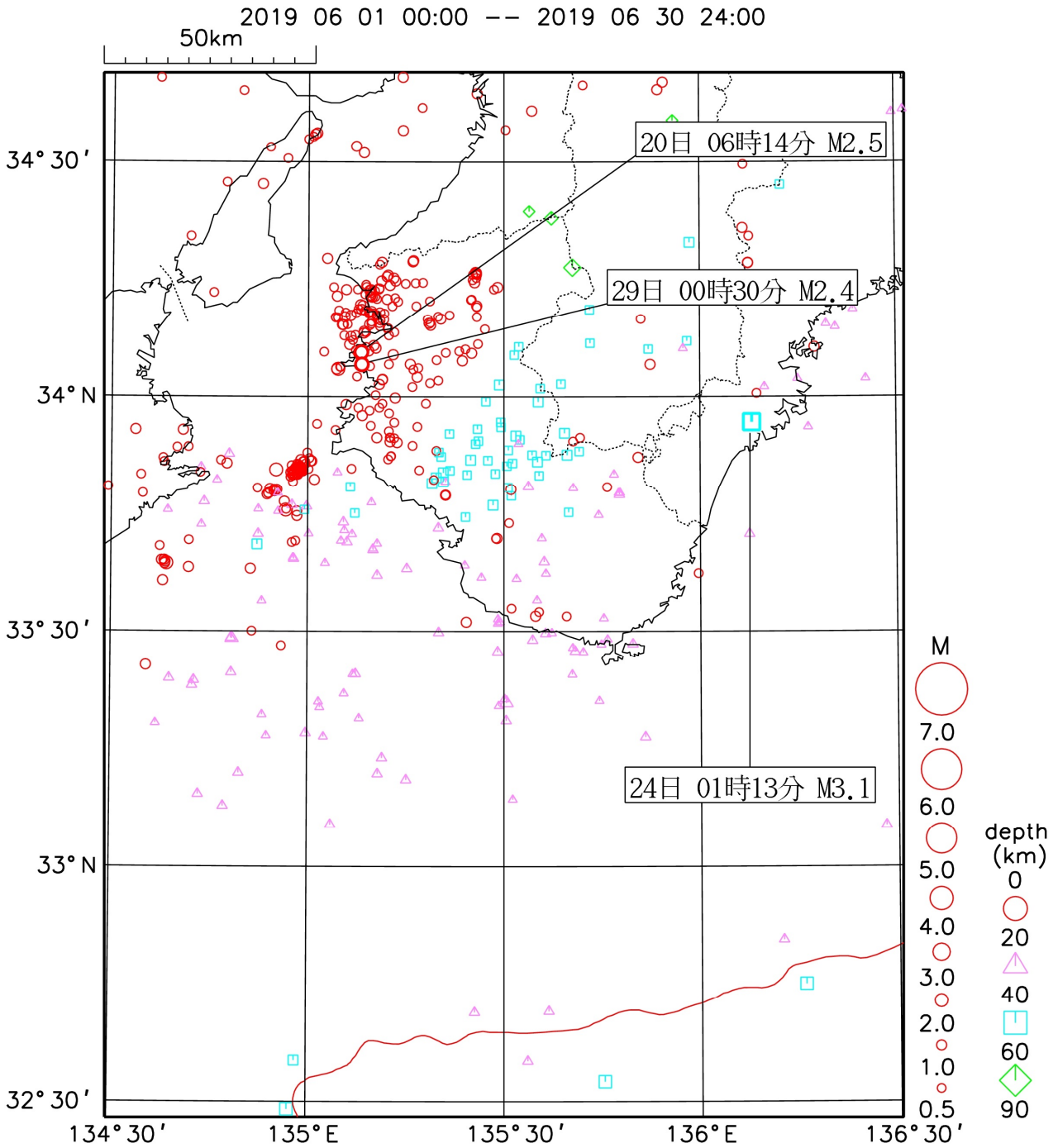
和歌山地方気象台

# 和歌山県の地震活動

2019年6月

和歌山地方気象台

## 震央分布図

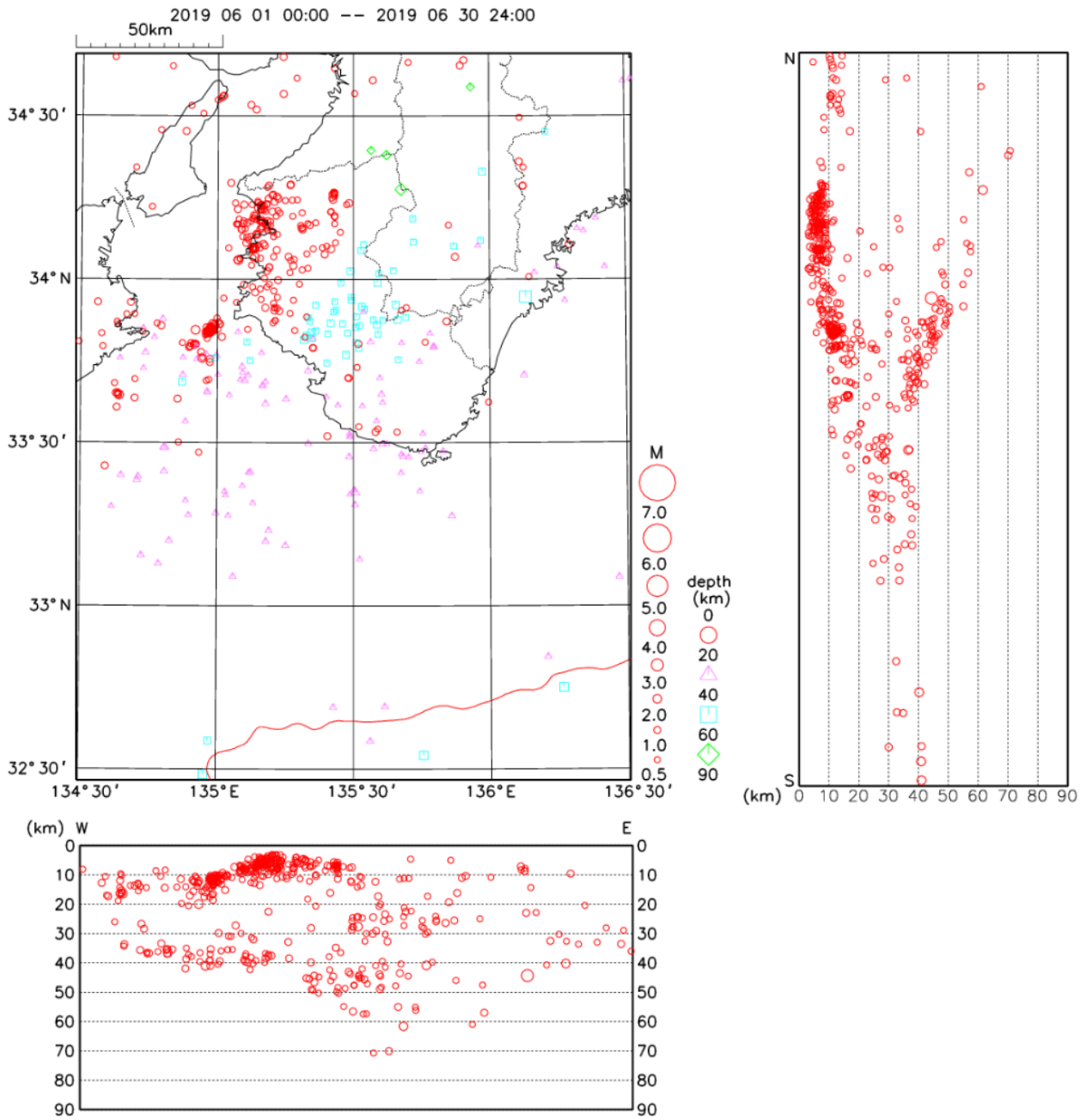


震央分布図は地震が発生した場所を地図上に描画したものです。

シンボルマークの大きさと地震の規模（マグニチュード）を、シンボルマークの形と色で震源の深さを表しています。また、赤線は海溝軸（南海トラフ）の位置です。

図中の吹き出しは、和歌山県内で震度1以上を観測した地震および震央分布図内で最も規模の大きな地震を示しています。

## 断面図



## 概況

6月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード(M)2.0以上の地震は13回(前月は21回)でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、24日1時13分三重県南部の地震(M3.1、深さ44km)でした。この地震はフィリピン海プレート内部で発生したものでした。

6月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は2回(前月4回)でした。

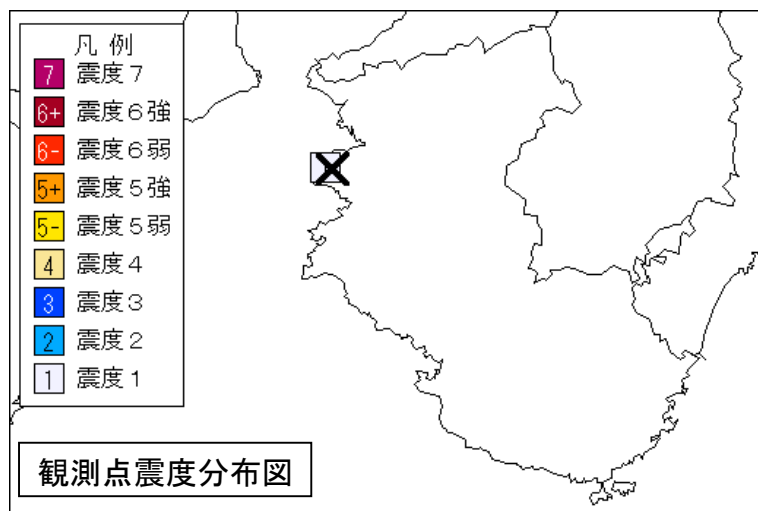
## 和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧

発震時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度（和歌山県内のみ掲載）					
2019年06月20日06時14分	和歌山県北部	34° 05.6' N	135° 08.1' E	6km	M2.5
和歌山県 震度 1：有田市初島町*					
2019年06月29日00時30分	和歌山県北部	34° 04.1' N	135° 08.2' E	6km	M2.4
和歌山県 震度 1：湯浅町青木*					

地点名の最後に\*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

### 震度分布図（図中の×は震央）

2019年06月20日06時14分 和歌山県北部の地震(M2.5、深さ6km)



2019年06月29日00時30分 和歌山県北部の地震(M2.4、深さ6km)



## 南海トラフ地震関連解説情報

気象庁では、「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を、南海トラフ沿いにおいて観測データに異常が現れた場合に開催する他、平常時から観測データの状況を把握するために原則毎月1回定例の会合を開催しています。この定例の会合では、概ねこれまでの1か月間の観測状況を評価し、結果を『南海トラフ地震関連解説情報』として、月初めから5日目（土日祝日は数えない）に発表しています（表）。

表 南海トラフ地震に関連する情報と『南海トラフ地震関連解説情報』の位置付け

情報名	情報発表条件
南海トラフ地震臨時情報	○南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ○観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
南海トラフ地震関連解説情報	○観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況等を発表する場合 ○「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし臨時情報を発表する場合を除く）

この情報には、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられるような特段の変化は観測されていない旨が記載される他、具体的な地震と地殻変動の観測状況、これらの地殻活動の評価が簡潔に記載されます。また、気象庁の報道発表資料においても『南海トラフ地震関連解説情報』について「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として評価検討会で用いた資料等（図に一例を示す）を加え、検討結果をとりまとめて発表しています。

「南海トラフ地震に関連する情報」は、命にかかわったり、生活に大きな影響を与えたりする重要な情報でありながら、まだ知名度が低いことが指摘されていることから、認知度の向上を目的として、他に重要な事項が無い限り当面の間、本紙のこのコーナーに『南海トラフ地震関連解説情報』の概略や抜粋した項目を掲載します。

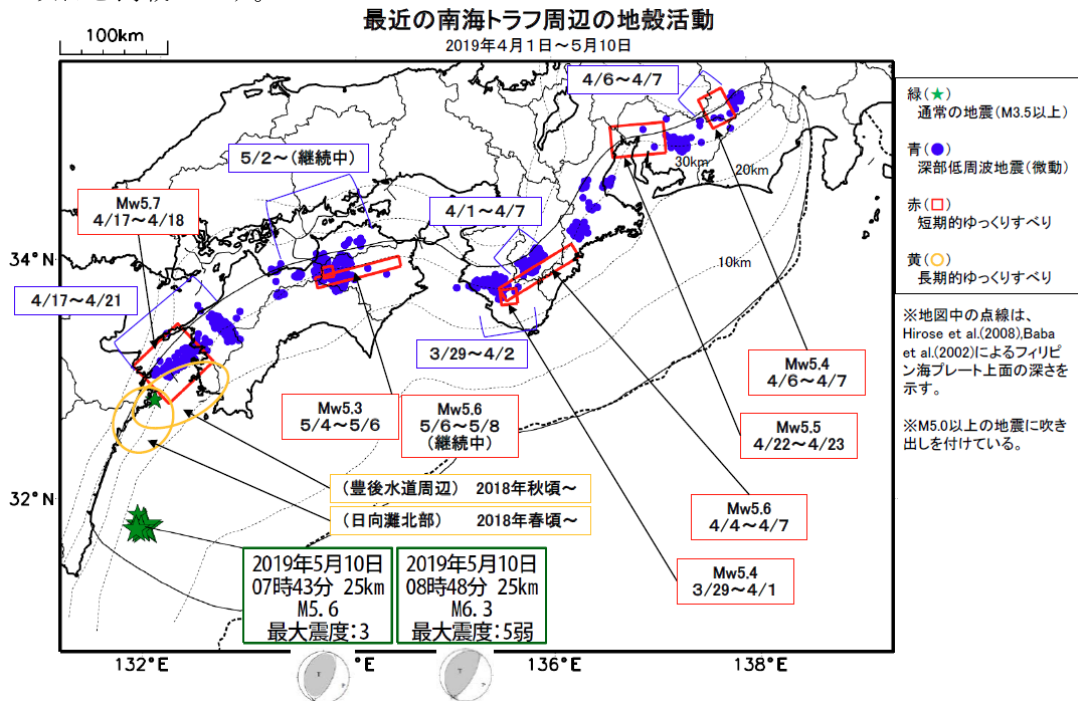


図 南海トラフ周辺の地殻活動を取りまとめた図の例（令和元年5月13日報道発表資料より抜粋加工）

《参考》『南海トラフ地震関連解説情報』掲載 URL

- <https://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nteq/index.html>
- <https://www.jma.go.jp/jma/index.html> ※新着情報をご覧ください